

# 職務経歴書

フリガナ	M.K				性別	男	現年齢	55	歳	年	月	日	
氏名	M.K												
最寄駅	JR 線			横浜 駅			徒歩	分		バス	分		
業務知識	通信、製造												
英語能力	TOEIC	- 点	英検	- 級	英語力 (○△×	ビジネス	×	トラベル	×	資料作成	×	資料読解	
保有資格	-												
自己PR	<p>サーバ・ネットワークのインフラに長年携わっており、この分野においては経験豊富です。</p> <p>また、リーダーとしてプロジェクトを推進する立場も多く経験しており、他チームとの調整なども積極的にコミュニケーションを進めておりました。特に他チームからの要望をそのまま受け入れるのではなく、何故それが必要なのかを理解した上で、必要であればより良い方式の提案など積極的に行ってきました。</p> <p>人材育成面では若手メンバーと積極的にコミュニケーションを取ることで、若手メンバーから報告・連絡・相談などをし易い環境を作ることで育成面でも貢献してきた。</p>												
開発系担当フェーズ	1. 調査分析 2.要件定義 3.基本(外部)設計 4.詳細(内部)設計 5.製造 6.テスト 7.実装 8.運用保守												
インフラ系担当フェーズ	A. 調査分析 B.要件定義 C.基本設計 D.詳細設計 E.構築 F.テスト G.実装 H.運用保守												
期間	クラウドの導入・運用サービス												
1	2024年10月 ～ 2025年9月 0年12ヶ月	<p>＜参画したプロジェクトのビジネス上の目的＞</p> <p>短期間でクラウド導入と24時間/365日の運用サービスを提供する。</p> <p>＜システム概要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AWS、Azureの基盤領域</li> <li>・Mackerelによるシステム監視</li> </ul>				H N W W	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AWS (CloudWatch,VPC,Lambda,EC2,RDS,S3,ELB,WAF,CloudFront,Cognito)</li> </ul>						
	メンバー					O S S W	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Amazon Linux 2023</li> <li>・Windows Server 2022</li> <li>・Mackerel</li> </ul>						
	全体規模/チーム規模					言語	-						
	20人 / 4人	<p>＜自分がプロジェクトに参画した事による貢献点＞</p> <p>経験の浅いメンバーのフォローを積極的に行った。</p>				D B	-						
	担当フェーズ												
	E,F,G,H												
1	期間	コンサルティング業務に関連したITサポート											
	2020年8月 ～ 2024年4月 3年9ヶ月	<p>＜参画したプロジェクトのビジネス上の目的＞</p> <p>コンサルティング業務において必要となるIT関連のサポートとシステム運用</p> <p>＜システム概要＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AWS EC2にインストールしたTableau Serverを中心としたデータ分析システム</li> <li>・AWS Rekognitionを利用した身分証明書の顔写真の照合</li> <li>・Windows Server、SQL ServerのEOL対応</li> </ul>				H N W W	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AWS (CloudWatch,VPC,Lambda,EC2,RDS,S3,ELB,WAF,CloudFront,ACM,Rekognition,Sage Maker)</li> </ul>						
	メンバー					O S S W	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows Server 2012～2019</li> <li>・CentOS 7</li> <li>・Tableau Server</li> </ul>						
	全体規模/チーム規模					言語	-						
	50人 / 4人	<p>＜自分がプロジェクトに参画した事による貢献点＞</p> <p>ITインフラのEOLや脆弱性の対応などを担当することで、業務部門の社員に業務に専念できる環境を維持した。</p>				D B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SQL Server</li> <li>・Amazon Aurora(PostgreSQL)</li> </ul>						
	担当フェーズ												
	C,D,E,F,G,H												

# 職務経歴書

期間		製造業業務システムのサーバ運用保守	H N W W	・AWS (主にEC2,RDS,ELB,CloudFront,ACM) ・NetApp
2	2018年2月 ～ 2020年3月 2年2ヶ月	・<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 業務システムの安定運用	O S S W	・Windows Server 2008～2019 ・CentOS 5～7 ・VMWare vSphere 5
	ポジション リーダー	・<システム概要> オンプレミスのVMWare環境とクラウドとしてAWSを利用しており、仮想マシンとインスタンスの総数が500台程度あり、サーバOSはWindowsとLinuxが7:3の割合で使用していた。	言語	-
	全体規模/チーム規模 100人 / 2人	・<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> エンドユーザー様からは新規システム構築やサーバの増強を中心のご依頼が多かったが、それだけではなく既存システムの安定運用を意識することで無駄な工数の発生を抑えた。	D B	-
	担当フェーズ D,EmF,G,H			
期間		生保業務システムのストレージ運用保守	H N W W	・EMC製ストレージ(CX4、VNX、 DataDomain、Centera) ・EMC製FCスイッチ(Cisco OEM) ・NetApp製ストレージ(FAS)
3	2016年7月 ～ 2017年10月 1年4ヶ月	・<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 業務システムの安定運用と機器(NetApp、DataDomain)のEOSL対応。	O S S W	・Solaris10 ・RHEL5 ・Windows2008R2 ・Windwos 2012R2 ・NetBackup ・VMware vSphere
	ポジション リーダー	・<システム概要> ・SANストレージ ・ファイル共有用NAS(EOSL対応実施) ・VMware用のデータストアNAS ・バックアップ用仮想テープストレージ(EOSL対応実施) ・データアーカイブ用ストレージ	言語	-
	全体規模/チーム規模 150人 / 18人	・<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> ファイル共有用NAS及び仮想テープストレージのEOSL対応に関して、移行方式の提案・設計及びストレージベンダーのコントロールを担当して、ストレージ起因によるプロジェクトの遅延を起こさなかった。	D B	・Oracle10g ・SQL Server
	担当フェーズ B,C,G,H	またリーダーとしてインフラシステム全体を見通し、サブチーム間の連携不足を補った。		
期間		生保業務システムのストレージ運用保守	H N W W	・EMC製ストレージ(CX4、VNX、 DataDomain、Centera) ・EMC製FCスイッチ(Cisco OEM) ・NetApp製ストレージ(FAS)
4	2015年7月 ～ 2016年6月 0年12ヶ月	・<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 業務システムの安定運用と機器(CX4)、OS(Windows 2003)のEOSL対応。	O S S W	・Solaris10 ・RHEL5 ・Windows2008R2 ・Windwos 2012R2 ・NetBackup ・VMware vSphere
	ポジション サブリーダー	・<システム概要> ・SANストレージ(EOSL対応実施) ・ファイル共有用NAS ・VMware用のデータストアNAS ・バックアップ用仮想テープストレージ ・データアーカイブ用ストレージ	言語	-
	全体規模/チーム規模 150人 / 18人	・<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> SANストレージのEOSL対応に関して、新規構築及び初回のサーバ移行はベンダーまでをベンダー作業とし、2回目以降は運用側で実施することによるコストダウンを図った。	D B	・Oracle10g ・SQL Server
	担当フェーズ B,C,G,H			

# 職務経歴書

5	期間	生保業務システムのストレージ運用保守	H N W W         O S S W         言 語         D B         	・EMC製ストレージ(CX4、DataDomain、Centera) ・EMC製FCスイッチ(Cisco OEM) ・NetApp製ストレージ(FAS)
	2014年9月 ～ 2015年6月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 業務システムの安定運用と機器のEOSL対応(MDS)及び経営統合対応。		・Solaris10 ・RHEL5 ・Windows2008R2 ・NetBackup ・VMware vSphere
	0年10ヶ月	<システム概要> ・SANストレージ ・SAN用FCスイッチ(EOSL対応実施) ・ファイル共有用NAS(Active Directory移行対応実施) ・VMware用のデータストアNAS ・バックアップ用仮想テープストレージ ・データアーカイブ用ストレージ		-
	メンバ			
	全体規模/チーム規模			
	150 人 / 18 人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> プロジェクト参画時に構成管理用のドキュメントに誤りが多数存在していることが判明したため、全調査を行い最新化を実施。		
	担当フェーズ	上記を行ったことにより、FCスイッチのEOSL対応及び、経営統合によるActive Directoryの移行に関するストレージ部分の構成変更を問題なく実施完了した。		・Oracle10g ・SQL Server
	B,C,G,H			
	期間	製造系企業公式WebサイトのDBサーバのストレージ増強		・NetApp製ストレージ(FAS)
6	2012年11月 ～ 2013年3月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 製造系企業の公式webサイトの将来的な機能追加を見据えた、DBサーバ用NASストレージのリソース(HDD)増強。	H N W W         O S S W         言 語         D B         	・RHEL5.3
	0年5ヶ月	<システム概要> IAサーバ2台(Linux)とNetApp社製NAS専用機によるOracleRAC構成。		-
	ポジション			
	リーダー			
	全体規模/チーム規模			
	50 人 / 7 人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> ストレージに関する既存ドキュメントの記載が不十分であったため、マニュアル及び機器の設定情報を参照して不明点はベンダーに確認する等の事前準備を行い、問題無く本プロジェクトを完了した。		・Oracle11g
	担当フェーズ			
	A,B,C,D,E,F			
	期間	金融系企業Web端末更改		・富士通製IAサーバ ・富士通製PC
7	2012年4月 ～ 2012年10月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 金融系企業のweb端末環境の老朽化対策として、最新のHW・SWに移行を行う。	H N W W         O S S W         言 語         D B         	・Windows2003R2 ・Windows2008R2 ・Windows XP ・Windows 7 ・ArcServe ・ActiveDirectory
	0年7ヶ月	<システム概要> 現行システムのWindows2003R2サーバx3及びWindows XP端末x15をWindows2008R2x3及びWindows 7x15へ移行。		-
	ポジション			
	メンバー			
	全体規模/チーム規模			
	3 人 / 2 人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> VMware上に試験環境を構築し、ファイルサーバ及びActive Directoryの移行手順の確認を実施し、問題無くプロジェクトを完了した。		-
	担当フェーズ			
	D,E,F,G			
	期間	製造系企業基幹系システム更改		・日立製UNIXサーバ
8	2012年2月 ～ 2012年3月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 製造系企業の基幹システムの老朽化に伴う新HWへの移行。	H N W W         O S S W         言 語         D B         	・AIX7.1 ・PowerHA ・シェルスクリプト
	0年2ヶ月	<システム概要> SUN社製サーバで稼働しているSAP社製ERP環境を日立製サーバへの移行及びミドルウェア・ツールの更新。		-
	ポジション			
	メンバー			
	全体規模/チーム規模			
	- 人 / 7 人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> OSが変更されることによるシステム影響を調査し、その対応案を提示した。		・bsh
	担当フェーズ			-
	C,D			

# 職務経歴書

9	期間	製薬会社向け実消化クラウドサービス立ち上げ	H N W W	-
	2011年8月 ~ 2011年11月 0年4ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 製薬会社向け実消化クラウドサービスの提供		
	ポジション	<システム概要> NEC提供のクラウドシステム上にOSSを中心としたWeb/アプリ/DBの3階層による構成。		O S S W •RHEL5.3 •Apache httpd •Tomcat •SiteShell •Squid
	サブリーダー			言語
	全体規模/チーム規模			
	- 人 / 5 人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>		
	担当フェーズ	マルチユーザを考慮した設計となっていたために基本設計の見直しを行い、マルチユーザ対応を可能とした。		D B •PostgreSQL
10	期間	携帯電話会社向けIP交換機のサポート	H N W W	•富士通製ブレードサーバ
	2010年6月 ~ 2011年5月 0年12ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 携帯電話のIP交換器のOS、ミドルウェアのサポート。		
	ポジション	<システム概要> アプリケーション開発部門に常駐して担当者からのQAや障害発生時の一次対応及びOS、ミドルウェア開発部門へのエスカレーション。		O S S W •CGLinux •NGN基本ミドルウェア •ETERNUSマルチパスドライバ
	サブリーダー			言語
	全体規模/チーム規模			
	- 人 / 5 人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>		
	担当フェーズ	アプリケーション開発拠点に常駐したいたことから、開発担当者と密にコミュニケーションを取り、求められるいるモノに則した回答を行った。		D B -
11	期間	リース会社合併に伴う基幹システム統合	H N W W	•富士通製UNIXサーバ •富士通製ブレードサーバ •富士通製L7スイッチ •NetApp製NAS専用機 •富士通製SANストレージ
	2009年4月 ~ 2010年4月 1年1ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 企業合併に伴う基幹システムの統合。		
	ポジション	<システム概要> フロントエンドをXenAppによる仮想化環境を使用し、バックエンドをUNIXサーバによるAP/DBサーバ構成。		O S S W •Solaris10 •Windows2003R2 •Systemwalker •NetBackup •ArcServe •XenApp
	メンバー			言語
	全体規模/チーム規模			
	200 人 / 10 人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>		
	担当フェーズ	システム全体を俯瞰して見られるよう両社の設計を熟読し、統合にあたり問題になりそうな点を事前に把握・対処を行うことで、大きな問題無くプロジェクトを完了した。		D B •Oracle10g
12	期間	製造系企業のメール中継システムの更改	H N W W	-
	2008年12月 ~ 2009年3月 0年4ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> MTAの統一による保守性の向上。		
	ポジション	<システム概要> 約20台からなるサーバにてsendmailを使用したメール中継システム。		O S S W •sendmail
	リーダー			言語
	全体規模/チーム規模			
	10 人 / 4 人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>		
	担当フェーズ	sendmailの設定ファイルをm4マクロを使用したものとし、保守性の向上を図った。		D B -
13	C,D,E,F,G			

# 職務経歴書

期間		製造系企業のメール中継システム調査	H N W W	-
2008年5月 ～ 2008年7月 0年3ヶ月		〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 設計書が無いために運用・保守が困難なシステムの調査及び設計書の作成。	O S S W	• sendmail • qmail
ポジション		〈システム概要〉 約20台からなるサーバにてsendmail,qmailを使用したメール中継システム。	言 語	-
リーダー			D B	-
13 全体規模/チーム規模		〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 sendmailの設定ファイルはマクロであることから読み解くことが困難であったが、検証環境を作ることにより解析を行った。		
担当フェーズ				
A				
期間		金融系企業の社内DNS、プロキシサーバ更改	H N W W	SUN社製UNIXサーバ
2008年3月 ～ 2008年4月 0年2ヶ月		〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 保守切れに伴うハードウェアのリプレースとミドルウェアのバージョン更新。	O S S W	Solaris10 BIND squid
ポジション		〈システム概要〉 社内端末用のDNS兼プロキシサーバのコールドスタンバイ構成。	言 語	-
リーダー			D B	-
14 全体規模/チーム規模		〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 プロキシサーバのログ領域の枯渇対策や、HDDの二重化による対障害性の向上を図った。		
担当フェーズ				
D,E,F,G				
期間		通信系企業の回線管理システム保守	H N W W	SunFire ServerIron
2007年5月 ～ 2008年3月 0年11ヶ月		〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 通信キャリア回線管理システムの保守	O S S W	Solaris8 Apache HTTPD WebLogic
ポジション		〈システム概要〉 Web/AP/DBの3階層構造でWebとDBはHA構成となっている。	言 語	-
リーダー			D B	Oracle8i
15 全体規模/チーム規模		〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 引き継いだ設計書が、ミドルウェアの設定ファイルが転機されているだけなど設定書の体をなして居なかつたことから、設計書を見直しを図って保守性の向上を図った。		
担当フェーズ				
H				
期間		携帯電話会社のショートメールシステム更改	H N W W	NetApp製NASストレージ 富士通製UNIXサーバ
2007年11月 ～ 2008年4月 0年6ヶ月		〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 携帯電話メールシステムの老朽化に伴うシステムリプレース。	O S S W	Solaris10 PRIMECLUSTER
ポジション		〈システム概要〉 NASストレージ(8台)にメールを格納し、フロントエンドのサーバ(16台)にて共有して送受信する。	言 語	-
サブリーダー			D B	-
16 全体規模/チーム規模		〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 チーム内にSolaris,NetAppの有識者が居なかつたことから、知識の共有を図ることでメンバーのスキルアップを促し、大きな問題無くプロジェクトを完了した。		
担当フェーズ				
D,E,F,G				
期間		製造系企業の基幹システム更改	H N W W	-
2007年7月 ～ 2007年10月 0年4ヶ月		〈参画したプロジェクトのビジネス上の目的〉 老朽化した富士通製オフコンからIBM製オフコンへのリプレース。	O S S W	AS400
ポジション		〈システム概要〉 詳細不明	言 語	COBOL
メンバー			D B	-
17 全体規模/チーム規模		〈自分がプロジェクトに参画した事による貢献点〉 未経験のCOBOLを扱ったが、有識者に積極的に質問するなどして知識を高め、最終的には他メンバーと同等の業務をこなした。		
担当フェーズ				
F,G				

# 職務経歴書

18	期間	通信系企業のネットワーク構築・保守	H N W W	・Cisco ・Foundly ・F5 ・ノーテル
	2002年12月 ～ 2005年6月 2年7ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> ISPのネットワーク構築・保守		
	ポジション メンバー	<システム概要> 約200台のネットワーク機器の保守及び毎月のネットワーク機器の構築。		O S S W
	全体規模/チーム規模 30人 / 3人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>		言 語
	担当フェーズ B,C,D,E,F,G,H	ネットワーク構成の標準化プロジェクトの中心として活動し、設計やベンダー発注の効率化を図った。		D B
	期間	通信系企業のサーバ増設計画立案		-
19	2001年4月 ～ 2002年11月 1年8ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> ISPの新規サービス及び既存サービスの増強に伴うサーバ増設計画の作成・管理	H N W W	-
	ポジション メンバー	<システム概要> サービス企画部門及び開発部門の計画に沿ったサーバの増設計画の作成及び進捗管理を実施。		O S S W
	全体規模/チーム規模 30人 / 5人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>		言 語
	担当フェーズ B	サーバ導入構築経験を生かし、開発担当者と事前に調整することで、期初の見込みと実績の差を最小限に留めた。		D B
	期間	通信系企業の個人HPサービスのシステム移行		・富士通製Unixサーバ ・EMC製NASストレージ
	2000年7月 ～ 2001年3月 0年9ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 個人向けホームページシステムの老朽化に伴う新規システムへの移行		
20	ポジション リーダー	<システム概要> データ移行に関して、EMCのマイグレーションサービスを使用することで、稼働中のデータ移行を行った。	O S S W	・Solaris8
	全体規模/チーム規模 1人 / 3人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>		言 語
	担当フェーズ A,B,C,D,E,F,G	リーダーとして全体的な進捗管理や問題発生時の対応・報告などを行い、予定通りのリリースを実現した。		D B
	期間	製造系企業のポータルサイトのサーバインフラ構築		・富士通製Unixサーバ
	2000年4月 ～ 2000年6月 0年3ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 製造系企業ポータルサイトのホスティングに伴うサーバ構築。		・Solaris2.6 ・SafeCLUSTER(クラスタリングソフト) ・SafeDISK(ボリュームマネージャ)
	ポジション メンバー	<システム概要> 約15台のWebサーバをHA構成のUnixサーバのストレージをNFSで共有するシステムを基本とし、認証サーバもHA構成となっている。		言 語
21	全体規模/チーム規模 30人 / 5人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>	D B	・Oracle8
	担当フェーズ D,E,F,G	短納期での対応が必要となったことから、ドキュメントは最小限としてソフトウェアマニュアルを参照しながらの構築となつたが、大きな問題無く納期内に納品した。		
	期間	ISP統合に伴う基幹サービスのシステム統合		・富士通製Unixサーバ ・EMC製NASストレージ
	1999年6月 ～ 1999年12月 0年7ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> ISP統合に伴う認証、メール及び個人HPシステムの統合。		・Solaris2.6 ・SafeDISK(ボリュームマネージャ)
	ポジション メンバー	<システム概要> ISP統合に併せて新規ホームページシステム、認証システム及びメールシステムを構築。		-
	全体規模/チーム規模 50人 / 5人	ホームページシステムは、従来のホームページシステムと基本設計と同等とし、NASストレージのみEMC製へ変更。 認証システムは、HA構成の認証マスターサーバと7台のレプリカサーバの構成。 メールシステムはHA構成メールボックスサーバ4システムと10台のメール送受信サーバの構成。		言 語
22	担当フェーズ D,E,F,G	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> OS部分に関して担当者と調整を行い、必要最小限のパッケージ構成での導入とした。	D B	-
	期間	通信系企業の個人向けHPサービスの構築		・SUN製Unixサーバ ・Auxpex製NASストレージ
	1998年7月 ～ 1998年12月 0年6ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> 個人向けのお客様向けにホームページサービスの提供。		・Solaris2.5.1
	ポジション メンバー	<システム概要> 約15台のWebサーバが、コンテンツを持つNASストレージをNFSで共有するシステム。		言 語
	全体規模/チーム規模 8人 / 4人	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>		-
	担当フェーズ D,E,F,G,H	Auxpex独自の技術要素を習得し、詳細設計～運用保守まで大きな問題なく行つた。		D B

# 職務経歴書

期間		通信系企業のサーバ高信頼化	H N W W	・富士通製Unixサーバ
24	1998年4月 ～ 1998年6月 0年3ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムのサーバをクラスタ化することで、障害発生時のダウンタイムを短縮する。	O S S W	・UXP/DS(Unix OS) ・LVCF(ボリュームマネージャ) ・ADCF(クラスタリングソフト)
	ポジション	<システム概要> アクティブ/スタンバイのHA構成。	言 語	-
	全体規模/チーム規模	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>	D	-
	20人 / 4人	ベンダーと調整の上、詳細設計及び実装、テストを担当し、基本設計通りの動作となることを確認した。	B	-
	担当フェーズ			
	D,E,F,G			
期間		通信系企業のデータバックアップシステムの更新	H N W W	・富士通製Unixサーバ
25	1997年10月 ～ 1998年3月 0年6ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムのデータバックアップ時間の高速化。	O S S W	・UXP/DS(Unix OS) ・LVCF(ボリュームマネージャ)
	ポジション	<システム概要> 従来のテープバックアップが長時間掛かる事から、ディスクtoディスクのバックアップとし、バックアップ時間の短縮する。	言 語	・bsh
	全体規模/チーム規模	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>	D	-
	20人 / 4人	LVCFの有識者としてバックアップツールのプロトタイプを作成してベンダーに提供し、本番用ツールの作成を作成期間の短縮を図った。	B	-
	担当フェーズ			
	D			
期間		通信系企業の第二DCの運用設計	H N W W	・富士通製Unixサーバ
26	1997年4月 ～ 1997年9月 0年6ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムの第二DC導入による継続的な機器導入の実現。	O S S W	・UXP/DS(UNIX OS)
	ポジション	<システム概要> 東京DCがスペース上の都合から機器導入の限界が近づいたため、群馬DCを使用することで継続した機器導入を可能とする。	言 語	-
	全体規模/チーム規模	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>	D	-
	20人 / 4人	現地CEとの調整の上、機器導入及び保守に関する運用設計を行い、極力サーバ構築・保守担当者のDC出張を無くすよう図った。	B	-
	担当フェーズ			
	D,G			
期間		通信系企業のサーバ工場インストールの実現	H N W W	・富士通製Unixサーバ
27	1996年4月 ～ 1997年3月 0年12ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムのサーバを工場出荷時にインストール及び設定を行うことによる納期短縮。	O S S W	
	ポジション	<システム概要> 基本設定が完了しているインストール用HDDを新規サーバにコピーの上、設定ツールによるホスト名・IPアドレスの設定を実施して納入後の設定作業を最小限とする。	言 語	
	全体規模/チーム規模	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>	D	
	1人 / 1人	工場の担当者の作業を、ツールを使用することで最小限とすることで、運用開始後の問い合わせなどを削減した。	B	
	担当フェーズ			
期間		通信系企業の新サーバ導入検証	H N W W	・富士通製Unixサーバ
28	1995年4月 ～ 1996年3月 0年12ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムで使用していたサーバの販売中止に伴う新機種の導入検証。	O S S W	・UXP/DS
	ポジション	<システム概要> 従来のSX/Aを搭載したサーバが販売中止となる事から、新機種であるUXP/DSの導入検証を実施。	言 語	-
	全体規模/チーム規模	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>	D	-
	20人 / 4人	SX/AからUXP/DSに変わることによる影響範囲を事前に検証を行い、実導入に際しての影響を最小限とした。	B	-
	担当フェーズ			
	A,D,E,F,G			
期間		通信系企業のサーバ構築・保守	H N W W	・富士通製Unixサーバ
29	1994年5月 ～ 2001年3月 6年11ヶ月	<参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムのサーバ構築・保守。	O S S W	・SX/A(Unix OS) ・UXP/DS(Unix OS)
	ポジション	<システム概要> 配属当初は約100台のサーバにより構成されたシステムで、ユーザのログインを受け付けるフロントエンドサーバと、サービス及び会員管理を行うバックエンドサーバの2段構成。離任時には約500台のサーバ構成となっていた。	言 語	・bsh
	メンバー		D	-
	全体規模/チーム規模	<自分がプロジェクトに参画した事による貢献点>	B	-
	20人 / 5人	サーバ構築・保守に関する技術面、実務面に関して中心的な役割を果たした。		
	担当フェーズ			
	C,D,E,F,G,H			

## 職務経歴書

30 期間 ～ 1992年4月 2年1ヶ月 ポジション メンバー 全体規模/チーム規模 15人 / 10人 担当フェーズ H	<b>通信系企業のシステム監視・保守オペレータ</b> <参画したプロジェクトのビジネス上の目的> パソコン通信システムの24時間/365日運用・監視を行うことによる、障害の早期発見。 <システム概要> 配属当初は約50台のサーバにより構成されたシステムで、ユーザのログインを受け付けるフロントエンドサーバと、サービス及び会員管理を行うバックエンドサーバの2段構成。  <自分がプロジェクトに参画した事による貢献点> 夜間バッチ処理の自動化及び、障害発生時のログ収集ツールの作成など、運用・監視の効率化を図った。	H N W W	・富士通製Unixサーバ
		O S S W	・SX/A(Unix OS)
		言 語	・bsh
		D B	-